

# あしぎん香港レポート

2018年8月

- 【調査レポート】中国新エネルギー車市場の伸張
- 【トピックス】MPF（強制積立年金）・・・・・・・・・・
- 【ニュース一覧】
- 【香港コラム】オクトパスカード（八達通）・・・・・・・・

足利銀行香港駐在員事務所  
SUITE 1601, 16/F, TOWER2, THE GATEWAY,  
HARBOUR CITY, TSIM SHA TSUI, KOWLOON,  
HONG KONG  
TEL:+852-2251-9475  
FAX:+852-2251-9476

本レポートの内容につきましては、弊行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談下さいますようお願い致します。

## 【調査レポート】

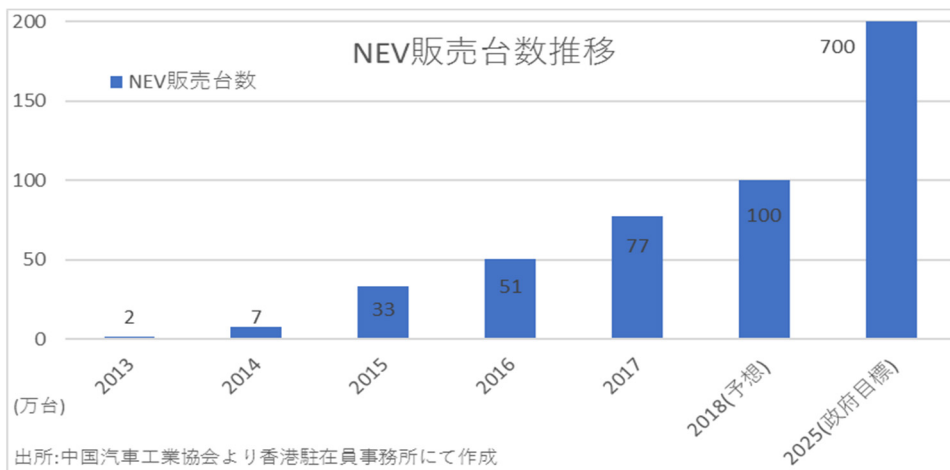
### —中国新エネルギー車市場の伸張—

#### 1. はじめに

中国の自動車市場は、2017年の自動車販売台数が2,888万台で、全世界の販売台数の約3割を占める世界の自動車市場です。中でも新エネルギー自動車(以下、「NEV」)を中国政府が推進しており、市場が拡大しております。今回は中国のNEV市場の動向や政府政策などをお伝え致します。

#### 2. NEV販売動向

2017年のNEVの販売は77万台、前年比153%と大幅に増加しております。現時点では、自動車販売台数全体のNEVのシェアは2.7%に過ぎませんが、中国政府は2025年には自動車販売台数の20%をNEVにするという目標を掲げています。



#### 3. NEV関連の政策

中国政府は、自国の自動車産業を基幹産業として発展させるため、外資企業が技術優位にあるガソリン車(ハイブリット車含む)ではないNEVの分野で、世界を代表する企業やブランドを育てていきたい意向です。そのために、下記の計画や法規制を打ち出し、国内の需要や生産をNEVに規制しています。

##### (1) 自動車産業中長期発展計画

「自動車産業中長期発展計画」の中でNEV企業の育成や、燃費に関する具体的な目標を掲げています(下表参照)。

自動車産業中長期発展計画が定める目標(一部抜粋)

分野	2020年まで	2025年まで
コア技術	世界トップ10のNEV企業、スマート車企業の育成する	全世界に影響力があるNEVの基幹企業が市場シェアをいっそう拡大し、スマート車が世界トップレベルに入る
中国ブランド車	リーダー企業を育成し、世界に通じるブランドを複数作り出す	販売台数で数社を世界トップ10入りさせる
グリーン発展	一般車の新車の燃費を100km当たり5.0L、省エネ車では4.5L以下に向上させる	新車の燃費を100km当たり4.0Lに高める

出所:中国工業・情報化部より香港駐在員事務所にて作成

## (2) NEV クレジット制

中国で年間 3 万台以上を生産・輸入する完成車メーカーは、中国でのガソリン車(ハイブリット車含む)の生産や輸入量に応じて、NEVの生産実績で付与される「クレジット」を獲得しなければなりません。2019 年から導入予定で、目標は 2019 年に 10%、20 年には 12%と引き上げられます。目標未達の場合は他社からクレジットを購入する必要があります。

## (3) 車両購入税の免税措置

排気量 1.6ℓ以下の自動車購入に対する減税は 2017 年をもって廃止され、NEV の車両購入税の免税措置(2014 年 9 月より導入)は、2020 年までの延長が決定されました。また、ガソリン車に対しナンバープレート規制をかけている大都市圏においても、電気自動車のナンバープレート発給には優遇策を設けています。

## 4. 華南地区の自動車メーカーの動向

自動車大手の広州汽車(広州市)は、通信機器メーカーの華為(ファーウェイ、深圳市)との業務提携により、自動車のインターネット接続やスマート運転技術等の研究開発、NEV 動力部品の業務協力等の展開を予定しています。また、ゲーム会社の騰訊(テンセント、深圳市)と共同で、人工知能などを利用したスマートカーモデルを発表しており、2018 年中に量産開始を予定しています。これら IT 系企業との協業により、次世代型の NEV の開発を進めていることがわかります。

中国エコカー最大手の比亞迪汽車(深圳市)は、SUV(スポーツ用多目的車)のエコカーモデルのラインナップを増やしています。また、2018 年 6 月に車載用のリチウム電池の新工場を稼働させたほか、電池分野に 3,000 億円以上を投じ、2,020 年に車載電池の年産能力を現状の 4 倍以上に引き上げる計画を発表しています。

## 5. まとめ

以上より、中国政府は NEV を推進する目標を掲げ、市場を拡大させるための各種制度を発表しています。華南地区の自動車メーカーも、同地区の IT 系企業の技術を活用した次世代 NEV の開発や、NEV 用リチウム電池生産設備への投資拡大を進めるなど、政府の推進する施策に合わせた動きを見せております。中国の自動車市場に関連する企業にあたっては、市場動向を見据えた対応が求められます。

今後も、香港駐在員事務所では、当地情報の収集や提供、当地におけるサポート活動を行って参りますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

## 【トピックス】

### －MPF（強制積立年金）－

#### 1. MPF(強制積立年金)の概要

香港で2000年12月から開始された年金制度で、雇用主と従業員双方で強制的に資金を積立するものです。65歳まで運用を行い、労後の生活費に充当するものであるため、日本の年金制度に相当するものです。香港政府が発表した2017年7月末までの統計では、総口座数は920万件、平均残高は154千香港ドル(約2,156千円/@14円)となっています。そのうち3万人は残高1,000千香港ドル(約14,000千円/@14円)を超えていることが明らかにされました。また、これまでMPFによる積立金から充当されていた解雇補償金や長期服務金(定年退職者に支払われる資金など)について、充当制度廃止が2018年6月に仮合意されるなど、従業員に対して有利な動きも出てきています。一方で雇用主にとってはコスト増加の懸念がされています。

#### 2. MPF(強制積立年金)の加入・免除条件

社員を雇用している全ての企業に加入義務があり、従業員は雇用開始日から60日以内に加入しなければなりません。毎月の従業員賃金の10%を雇用主負担(5%)と従業員負担(5%)に分け、雇用主が従業員MPF口座に積み立てていきます(対象となる毎月の上限賃金は30千香港ドル、約420千円/@14円)。この賃金には、基本給、ボーナス、ダブルペイ(香港レポート2018年1月号:トピックスに掲載)、各種手当など、全ての賃金が含まれます。一方で、MPFの加入が免除される条件については、①18歳未満または65歳以上の従業員、②月間賃金がHKD 7,100(約99千円/@14円)以下の従業員、③香港での滞在期間が13ヶ月以内の従業員④自国の年金制度に加入している海外の企業に所属する従業員などがあります。また、MPFの受取開始日は65歳ですが、日本人を含め外国人労働者が香港を離れる際は、1度だけ解約ができ、資金を受け取ることが出来ます。しかし、香港で再度就業した場合は、65歳まで受けることができないため、注意が必要です。

##### 【1ヶ月の従業員賃金の金額に対する負担額の比較】

1ヶ月の賃金	雇用主の負担額	従業員の負担額
HKD 7,100 未満	賃金 × 5%	支払不要
HKD 7,100 以上 HKD 30,000 未満	賃金 × 5%	賃金 × 5%
HKD 30,000 超	HKD 1,500	HKD 1,500

#### 3. まとめ

いまや平均寿命で世界1位となった香港。2018年7月からは発行規模100億香港ドルの終身年金保険「香港年金計画」が販売されるなど、老後の対策に注目が集まっています。

## 【ニュース一覧】

### 〈香港〉

#### ・経済

－5月の香港への旅客数、前年同月比 8.0%増(7/2)

－5月の小売売上高、前年同月比 12.9%増(7/4)

－6月の日経・香港 PMI、47.7 に低下(7/5)

－中国・小米が香港上場、5,200 億円調達(7/9)

#### ・金融

－HSBC香港の個人間決済サービス「ペイミー」、利用者 100 万人突破(7/19)

#### ・不動産

－香港政府が「空室税」導入を公表(7/2)

－5月の香港民間住宅価格、前月比 1.7%上昇＝19 カ月連続で過去最高更新(7/3)

#### ・その他

－個人向け医療保険加入者数、10年で 78%増、保険料は 86%増(7/4)

－香港電力 2 社、10 月から相次ぎ値上げ(7/5)

－茨城・群馬・千葉・栃木4県食品の輸入規制、24 日に緩和(7/23)

### 〈広東省〉

#### ・経済

－6月の広東省製造業PMI、50.6に小幅上昇(7/2)

－6月の広東省 CPI、前年同月比 1.8%上昇(7/12)

#### ・その他

－広州市、ごみ分別条例 7 月 1 日に全面施行(6/27)

－広州市、市外ナンバー車の通行規則「開四停四」始まる(7/3)

－広州市、社会保険料納付基準引き上げ(7/4)

－深圳市、夏季のホワイトカラー平均賃金、全国 3 位(7/5)

－広東省、企業手続き所要時間を 5 日に短縮へ(7/12)

－深圳市、電動自転車管理規定設定、禁止区など設ける(7/18)

－広東省、住民の可処分所得、実質 6.5%増(7/20)

－広州市、NEVの通行料金免除など検討(7/20)

(出所:各種新聞報道等)

## 【香港コラム】

### －オクトパスカード（八達通）－

香港においてあらゆる場所で使用されている「オクトパスカード(八達通)」。日本の Suica や PASMO と同様の電子マネーカードです。1997 年の導入以来、発行数は 3,000 万枚以上となり、香港全人口(約 740 万人:2017 年 12 月)の 4 倍以上が発行されています。

#### 1. 購入方法

駅(MTR)や空港のカウンターで販売されており、通常、大人 HKD150(約 2,100 円/@14 円)から購入できます。その内訳は、最低チャージ金額である HKD100 と保証金 HKD50 となっており、返却時には HKD50 が戻ってきます(使用期間三ヶ月未満の返却は HKD9 の手数料がかかります)。また、購入時にチャージした金額(HKD100)は即時利用可能です。

【オクトパスカード】



#### 2. 利用場所・利用方法

主な利用可能な場所については電車、バス、フェリーなどの交通機関や、コンビニ、自動販売機、大学校舎などがあります。用途は「料金の支払」のみならず、会社の「出退勤管理」や、大学の学生の「出欠管理」のカードとして活用されており、更には、観光客にも有名な寺院(黄大仙 ウォンタイシン)の賽銭の奉納にも、オクトパスカードが利用されており、香港で生活するうえで、無くてはならない必需品です。

【地下鉄改札機】



利用方法については日本とほぼ同様ですが、残高がマイナスになってしまった場合でも、保証金分の HKD50 までの範囲であれば利用可能です。ただし、マイナスの状態では新たに利用することは出来ないので、その際はチャージする必要があります。チャージについては、駅(MTR)やコンビニエンスストアなどで対応しています。

#### 3. 形態

日本と同様にカード型が一般的ですが、腕時計型、キーホルダー型などもあります。定期的にキーホルダー型のオクトパスカードが発売されており、ハローキティ、ドラえもん、ちびまる子ちゃん、ワンピースなど、日本のアニメキャラクターが使用されることがあり、人気があります。

中国本土ではスマートフォンなどで決済できるシステムである「アリペイ」や「WeChat ペイ」が普及しています。しかし、香港でこれらがなかなか浸透しない理由の一つと言われているのが、オクトパスカードの存在です。香港に旅行で訪れた際は、空港で1枚買うと移動や買物で非常に便利です。